

環境都市 日立市に 巨大な 産廃最終処分場はふさわしくありません

2021年、日立市議会、市長ともに県の産廃最終処分場受け入れを認めました。これは**日本最大級**の、かつ、**関東で唯一**の「廃棄物処理センター」である「エコフロンティアかさま」の後継地になるということです。そこでは「特別管理廃棄物」を処分しており、地下水等からはダイオキシン類、大腸菌類などが、又、放射性物質なども有意に検出されています。

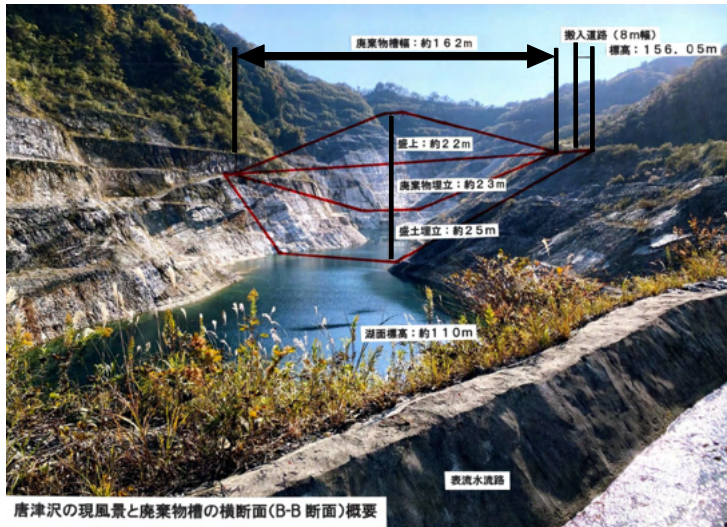
しかし、建設はまだ計画段階であり、工事の予算がつくのはこれからです。
一止めるのは、今、みんなの力で

今回の処分場は鮎川上流の唐津沢に計画されました。そこは石灰岩を掘ったあとの窪地で、水がたまり、湖になっています。その水をぬき、土砂で埋め立てて、遮水工を施す等の工事をして、県内外からの産業廃棄物や一般廃棄物を埋め立てるものです。

裁判提訴へ

県は、候補地発表後に、産廃搬入ルートを「新設道路建設案」に変更しました。これには200億円もの追加費用が見込まれます。連絡会有志は2021年9月、これが公金の無駄使いであるとして、今年度分の支出差し止めを求めて水戸地裁に訴えました。

2022年2月、第1回口頭弁論が開かれました。原告は産廃処分場の不当性と新設道路の危険性を述べ、「郷土日立の自然を守れ」と訴えました。被告「県」は、何も語らず、答弁書で請求棄却を求めました。



唐津沢の現風景と廃棄物槽の横断面(B-B断面)概要

候補地は人口密集地にあり、交通渋滞や大気汚染の不安



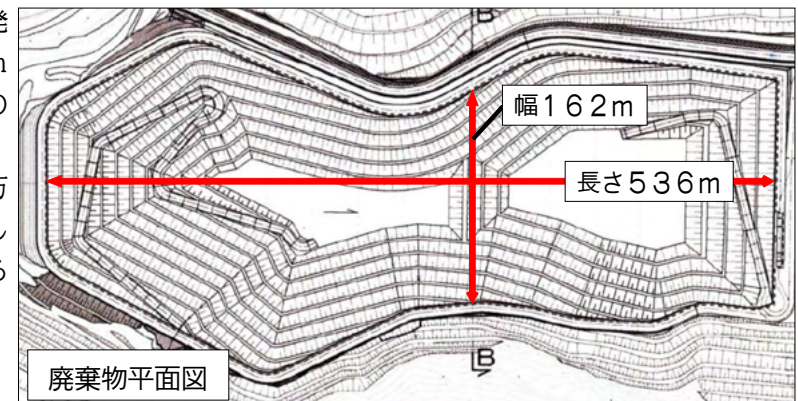
唐津沢は、日立市で最も人口密度の高い多賀地区のすぐ裏手にあります。道路工事が始まれば市街地を工事の車が往復し、処分場完成後は、何百台もの産廃車が通りぬけます。そして、太平田から鮎川流域は、洪水や土砂災害のある場所です。（土砂災害ハザードマップより）

また、ここは東海第2原発から12kmのUPZ圏内でもあり、原発事故が起これば、処分場は管理不能になるでしょう。

産業廃棄物を山積みにする危険

2021年9月、県の基本計画中間報告が発表されました。そこでは、産廃を、幅162m長さ536m（右図の赤矢印）にわたって山のように積み上げる、という計画が示されました。

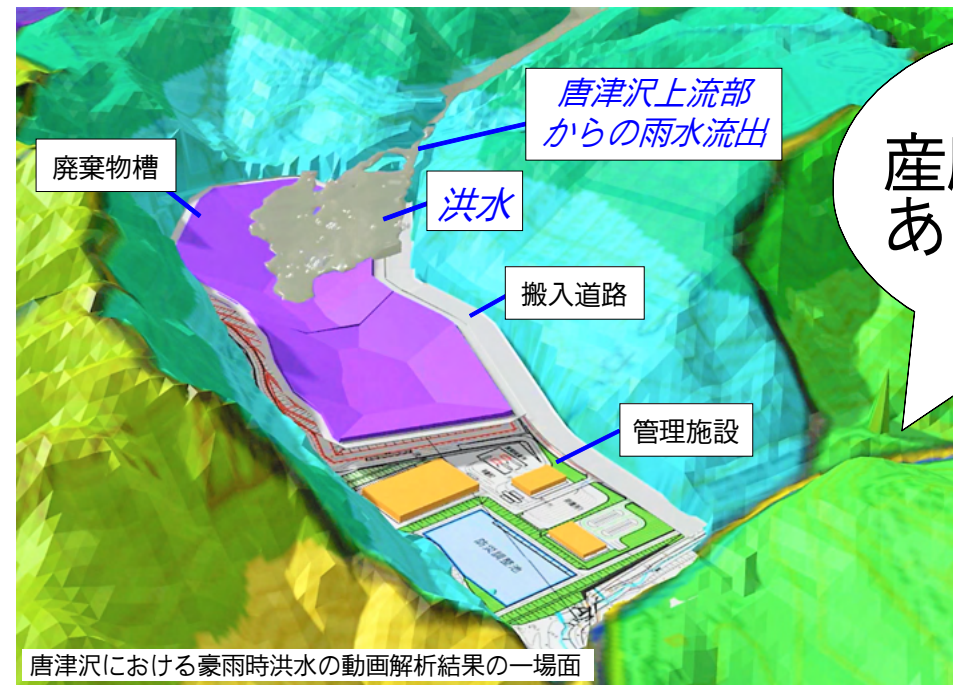
碧く美しい湖が消え、埋め立て容積244万㎡の廃棄物が、高さ25mの山となって出現します。廃棄物が崩れたり、遮水シートが破れる危険があります。



大平田と鮎川、桜川流域に大災害の危険

以前より鮎川流域では、増水の時に護岸壁の損壊が発生しており、住民から洪水対策を求める陳情が出されていました。しかし、処分場建設により唐津沢湖が埋め立てられてしまうと、豪雨時の危険は唐津沢下流域一帯に広がります。

処分場は急傾斜地に囲まれ、豪雨の時、水は谷底の廃棄物槽に流れ込み、土石流とともに流域は大災害になるでしょう。この時、広大な唐津沢から流れ込む雨水と廃棄物の量は、熱海の土石流（5万㎡）の災害とは比べ物になりません。



沢に
産廃処分場は
ありえません

国交省の洪水対策・・・降雨量の増大にそなえて方針転換

2020年、国交省は近年の豪雨災害対策について、「流域治水」構想を発表しました。「地球温暖化により、これからの降雨量は過去の統計をはるかに上回る。洪水は堤防やダムだけでは防ぎきれない」という考えで、「上流から下流までの地形等を利用し、あらゆる手段で河川への流出をくい止める」という計画です。茨城県北の河川でも「流域治水プロジェクト」が立ち上がりました。

この考えによれば、「集水地域」にある唐津沢の湖は今のままで50万トンの防災調整池の役割を果たしています。

地下水は 宝

水源に産廃を埋め立てることは、川の水はもちろん、地下水の汚染も招きます。候補地の東側には災害協力井戸が64か所もあります。**地下水は何十年、何百年という時を経た貴重な一滴なのです。**地下水脈は、深く網の目のように張り巡らされ、いったん汚染されたら修復は不可能です。

日立的地下水はまだ飲めるのです。しかも阿武隈山系からつながる石灰岩層を経た日立の水はミネラルが豊富なおいしい水です。この水が示すのは日立の豊かな自然であり、これは日立の宝です。



唐津沢林道の看板

SDGs（持続可能な開発目標）の時代

産廃処分場をどうすべきか

産廃は、それぞれの地域で、小規模に、安全な方法で処理すべきだと私達は考えます。大規模に1か所に集めて、遮水工等を施し、埋め立てる方法は環境破壊が避けられません。「エコフロンティアかさま」での反対運動は、8年にもわたる裁判を経て、いまなお続いています。たった一つの候補地を定め、「我慢せよ」というやり方を繰り返してはなりません。それは、SDGsに反します。

入会案内

年会費1000円

連絡会では会報発行の他、学習会や現地見学会など各種活動を行っています。

運動の成功のためには、幅広い人々の参加が必要です。多くの方の入会をお待ちします。

（連絡は下記まで）

どなたでもご参加下さい

みなさんの力が必要です

・産廃市民のつどい 3月12日（土）

14時～ 日立市民会館111号室

- ・ 鈴木鐸士さんによる洪水問題の解説
- ・ 弁護士さんによる裁判の話 など

・第2回裁判・・4月21日（木）

11時30分～ 水戸地裁。

署名は最新のもので、
大井川知事宛です。
以前署名された方も
お願いします。

カンパのご協力をお願い申し上げます。

振込口座

常陽銀行 多賀支店（店番 017）

普通預金 県産業廃棄物最終処分場反対連絡会

口座番号 1995334

2022年2月

県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会

共同代表 荒川照明 090-9845-7019

日立市台原町2-10-10

共同代表 数藤まち子 日立市諏訪町5-24-7

県産業廃棄物最終処分場の建設撤回 要望署名

茨城県知事 大井川 和彦 殿

2020年5月26日、大井川知事は日立市諏訪町の日立セメント太平田鉱山跡地を笠間市にある「エコフロンティアかさま」（2005年稼働時日本最大規模の産廃最終処分場）の後継候補地として発表しました。この計画では私たちの環境と命とが危うくなります。故郷日立を産業廃棄物汚染から守り、未来永劫、安心して暮らせる土地とするため、下記を要望します。

【要望】日立市内への県産業廃棄物最終処分場の建設を断念すること。

【要望理由】

- ①「エコフロンティアかさま」への産廃運搬車等の出入数（往復）は中小含め1日平均約500台であり、中丸町からの新設道路が建設されても市内の交通・生活環境悪化は避けられない。
- ②新設道路の建設により、4[㍊]に亘って桜川から唐津沢にかけての貴重な自然が破壊される。
- ③「エコフロンティアかさま」は日本最大級の、かつ、関東で唯一の「廃棄物処理センター」であり、特別管理産業廃棄物や特別管理一般廃棄物等の埋立等しているが、地下水等からはダイオキシン類や大腸菌類等が、また、場内放射線空間線量も、有意に検出されている。
- ④ 太平田鉱山は日立市内で最も人口密度の高い多賀支所管内にあり、候補地としては論外。
- ⑤ 候補地は唐津沢という広大かつ急峻な沢であり、水が流れ、溜まっている。沢に作れば河川や地下水への、長期かつ広範囲にわたる影響（汚染）は避けられない。
- ⑥ 近年多発している異常降雨により、当該産廃処分場が破壊され、鮎川及び桜川流域に甚大な被害が出ることは必至である。洪水対策からも「唐津沢の湖」は残すべきである。
- ⑦ この間の県の地質調査では建設予定地の石灰岩層から空洞や高透水性が確認されている。
- ⑧ 太平田鉱山は東海第二原発から12[㍊]にあり、過酷事故時には立入が禁止されるため、管理ができず、公衆衛生上の大問題が発生する。
- ⑨ 太平田鉱山跡地は「エコフロンティアかさま」より遥に大きく、百年以上先まで増設される恐れがある。
- ⑩ 多賀山地には日本最古の5億年前の地層群やウミユリ等貴重な化石が確認されており、一帯をジオパーク等で保存活用し、日立市の新たな町おこしにつなげるべきである。

氏 名	住所（住所が同じ方も、お手数ですが番地までご記入ください）
	茨城県 市 町
	茨城県 市 町
	茨城県 市 町

【取り扱い団体： 署名送付先：〒316-0001 日立市諏訪町5-24-7 数藤まち子 宛】

署名実施団体：県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会（電話 090-6817-2838、ホームページ <http://voice2020next.org>）、個人情報目的以外には使用致しません。